

教育センターだより

令和4年度

研究発表会

2.17

13:00~16:25

Fri

お申込ありがとうございます

ございました

発表Ⅰ 13:10

全国学力・学習状況調査及び
香川県学習状況調査結果分析

発表Ⅱ 13:45

ICTの効果的な活用による
「主体的・対話的で深い学び」の
実現に向けた調査研究

講演 14:55

演題

「子ども主体の学び
とICT」

講師 中川 一史 先生

放送大学・教授、博士(情報学)



1人1台端末環境での
授業づくり

主体は誰ぞ

研究発表会の内容

発表Ⅰ

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査結果分析

「学習意欲」や「言語活動」、「自己有用感」等にかかわる質問紙調査の結果について、全国との差や経年変化をもとに分析し報告書にまとめました。本県の特徴や課題を提示するとともに、学校・学級改善の方向性について提案します。

発表Ⅱ

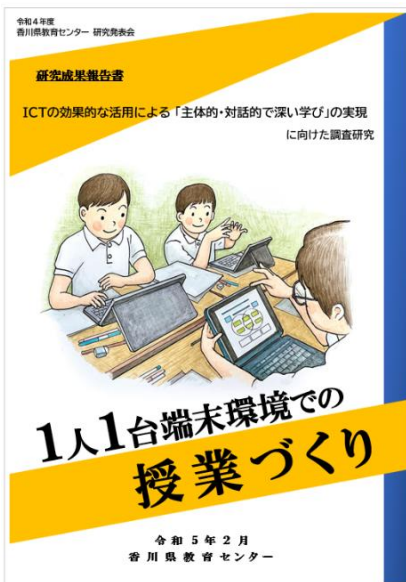
ICTの効果的な活用による 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究

1人1台端末環境での授業づくり =
学習者主体の学び × ICTの文机的活用

GIGA スクール元年であった令和3年度は、教職員や児童生徒が「まずは使ってみる」という基礎的な段階から学校を支援してきました。同時に、児童生徒の資質・能力を育成するための手段としてICTの強みを生かした授業づくりについても研究を進めてきました。令和4年度は、「問題の発見・解決のプロセス」、さらには「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実といった観点から、これからの学習活動の方向性を見直しました。その中で、ICTを活用するしないに関係なく、授業づくりの根幹は学習者主体の学びであること、目指すべきはICTの文机的活用だということが見えてきました。当センターでまとめている学力調査の結果分析等から見えてきた本県の特徴や課題を踏まえた授業改善の方向性と併せて提案します。



研究成果報告書



令和4年度 研究成果報告書 1人1台端末環境での授業づくり

第1章 研究の概要

第2章 これからの学びを支えるICT

1. 教具的活用から文机的活用へ
2. 情報モラル教育からデジタル・シティズンシップ教育へ

第3章 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたICTの効果的な活用

1. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
2. ICTの効果的な活用を目指して
3. ICTを活用することのよさと留意点
4. 授業改善のためのチェックポイント

実践事例（小学校16例、中学校13例、高等学校10例、特別支援学校5例）



講演

演題 「子ども主体の学びとICT」

講師 中川 一史 先生 放送大学・教授、博士(情報学)

中央教育審議会初等中等教育分科会「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」(委員)、内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」(座長代理)、教科書研究センター「デジタル教科書に関する調査研究委員会」(委員長)などを務められており、全国各地の自治体や学校への実践研究の指導・助言にあたられています。



「香川県教員等人材育成方針～校長及び教員としての資質の向上に関する指標～」

を改正しました。(令和5年1月16日)

教育課題の多様化・複雑化に対応したり、GIGA スクール構想の実現を促進したりするために、今回の指標の改正では、「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」と「ICT や情報・教育データの利活用」の観点が増加されました。



職種		教諭・養護教諭・栄養教諭			管理職		
キャリアステージ		基礎期 1	発展期 2	深化期 3		副校長・教頭 1	校長 2
目安となる経験年数		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～			
指標の観点	素養・資質 A	教員としての基礎固め ミドルリーダーとしての推進力 熟練教諭としての助言と指導			素養・資質 A	校長の補佐と他教員への助言と指導 学 校 経 営	
	知識・技能 B				リーダーシップ B		
	連携・協働 C				マネジメント C		
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 ア				特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 ア		
	ICT や情報・教育データの利活用 イ				ICT や情報・教育データの利活用 イ		

指標は県教育センターWeb サイトに掲載しています。

<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/section/training/about-training>



本指標の活用等

教員免許更新制の発展的解消により、教員には主体的に研修に打ち込むことが求められるようになりました。これからは、一人ひとりの教員の個性に即した個別最適な学びや、校内研修等を生かした協働的な学びがより重要となります。その際に本指標を活用すると、自身のことを客観的に判断することができ、とても有効です。

また、主体的・自律的な学びに向けては、指標に示された目指すべき資質に対して、個別に具体的な目標を設定することが大切です。なお、目標設定の際には、教員経験や校内の立場等も考慮して、指標に示された目安となる経験年数にこだわらず、観点ごとに適切なキャリアステージのものを参考にしてください。

次年度以降の研修について

今後は、可視化された研修履歴を基に、教員と管理職とが対話を繰り返す中で、教員が自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割等を踏まえて、自己の学びをマネジメントし、主体的に研修を行っていくことが求められます。また、学びの場として、県教育委員会主催の研修、日常的な校内研修、その他の自主的な研修等、様々な場が想定されますが、県教育センターでは様々な研修ニーズに対応した専門研修等を開催していますので、是非活用ください。



子どもたちのこと、保護者への対応で悩んでいませんか？

教育相談課では、学校における教育相談活動を支援するために、次のような活動を行っていますのでご活用ください。

問い合わせ先 教育センター教育相談課 ☎ 087-813-0945



コンサルテーション

子どもや保護者とのかかわり方や学校で行う指導、支援の在り方について、電話や来所での相談を受け付けています。



研修サポート

学校等が主催する、教育相談や特別支援教育、生徒指導に関する研修の講師を務めたり、ケース会議に参加したりしています。関係する資料の提供も行っています。



学校支援アドバイザーの派遣

かわた ゆきお
川田 行雄 アドバイザー
臨床心理士

ふじさわ あかね
藤澤 茜 アドバイザー
社会福祉士・精神保健福祉士
香川SSW協会副会長



学校支援アドバイザーが学校を訪問し、対応の難しい問題について解決の道筋を一緒に考えます。

※対象は公立小中学校です。

Web サイト

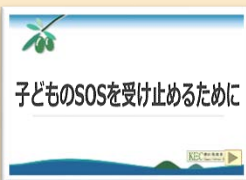
香川県教育センターの Web サイトに掲載しています。

心と身体のチェックリスト



突然の災害や事故、事件に遭遇したり、何らかの強いストレスを受けたりした子どもたちのサポートのため、学校で活用していただくことを目的に作成したチェックリストです。

オンライン研修資料は、校内研修や若年教員への指導資料としてお使いいただけます。



先生方一人ひとりからの相談も受けています！



特別支援教育の視点を生かしたかかわり方が知りたい

子どもへのかかわり方が分らなくなってきた

学級経営に自信がもてない

あたたかい人間関係づくりのこつを知りたい

保護者への対応がうまくいかない

職場の人間関係をうまく保てない

お話をお伺いしながら一緒に考えたり、アドバイスをしたりします。

相談内容等、相談者のプライバシーは守られますので、お気軽にご利用ください。まずは、お電話でご相談ください。

教育相談課
TEL: 087-813-0945
月～金曜日 9:00～17:00
祝日・年末年始は除く

